

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 8 月

作成者：(株)エックス都市研究所

	【施設名称】 肥前塚たい肥生産組合の「たい肥製造プラント」
	【事業主体】 肥前塚たい肥生産組合
	【所在地】 茨城県笠間市
	【運転開始年】 平成 10 年度
原材料および利用量	牛糞・鶏糞（発生量合計：7.5t/日）
生産物（種類）	有機質たい肥（生産量：10t/月）
利用方法	販売し、農家がほ場に散布
導入目的・経緯	酪農家の糞尿処理について、機械の老朽化や、たれ流しや野積みにした糞尿が降雨時等に流れ出すなど、近隣住民から苦情が相次ぎ、対応に苦慮していた。
設備仕様	たい肥舎、たい肥発酵施設、攪拌機、計量機（ふるい機併設）、ダンプカー、ショベルローダー、フォークリフト、袋詰め機 施設処理能力：10t/日
稼働状況	300日/年
経済性関連データ	施設整備日：99,300千円 補助事業：ウルグアイラウンド農業合意関連対策事業 交付主体：国
導入効果	天候に左右されることなく、稼働できる。 農家に喜ばれ、有機農業に貢献できる。
運営上の課題	飼養頭数を増やすことは、これから高齢化になっていくので考えていない。
備考・参考資料	関東農政局 都県別バイオマスの取組事例